

## 第 106 回 (平成 29 年度)日本病理学会宿題報告応募抄録

(ふりがな) 応募者氏名	印	会員番号:
	生年月日:    年    月    日	生まれ (    歳)
所属		職名
所属住所	〒	
	電話:	Fax:                      電子メール:
応募者略歴		
宿題報告担当者として病理学会員に呈示したい perspective (専門領域あるいは病理学全般に関して):		

演題名	
選考用抄録 (1000 字以内)	

## 業績一覽

## 業績一覧記載例

### 論文

50 編以内、著者は省略せず全員を記載すること、応募者に下線を付すこと

1. Suzuki I, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Prognostic markers for invasive breast cancer. Pathol Int 21; 175-180, 2015
2. 田中二郎, 鈴木一郎, 山田三郎, 伊藤四郎. 乳がんの予後因子. 診断病理, 21; 175-180, 2014

### 著書

3. Suzuki I, Tanaka J: Prognostic markers for invasive breast cancer. Histopathology. (Ed) Yamada S, Ito S, Pathology Press, Tokyo, p.175-180, 2007
4. 田中二郎, 鈴木一郎: 乳がんの予後因子. 組織病理 (山田三郎, 伊藤四郎編集). 病理書院, p.175-180, 2013